



メデイカル メガバンク通信



久慈サテライトのスタッフ
(久慈市特産ウニのイメージを両手で表しています)



IMM 地域住民健康調査へのご協力者が 19,000人を超えました!

岩泉町、大槌町、釜石市、田野畑村、宮古市の5市町村の特定健診会場で実施した平成26年度のIMM地域住民健康調査は、皆さまのご理解の下、無事終了することができました。現在は、沿岸地域の活動拠点「サテライト」と「矢巾センター」での健康調査を継続して実施しています。

平成25年度から開始したこの健康調査は、おかげさまで参加者が19,000人を超えました(2月末現在)。

住民の皆さま、そして各対象自治体、医師会並びに関連病院のご理解とご協力に心より感謝申し上げます。



H27.2釜石市集団結果説明会の様子
(協力:釜石市 会場:イオンタウン釜石)

平成26年度 I-MM地域住民健康調査

皆さまのご協力に心より感謝申し上げます



I-MM地域住民健康調査

平成26年度の健診参加型健康調査は、沿岸5市町村（岩泉町、大槌町、釜石市、田野畑村、宮古市）のご協力のもと実施させていただきました。9002人の住民の皆さまにご参加いただきました。現在は、沿岸地域の活動拠点であるサテライト（久慈、宮古、釜石、気仙）と矢巾センターで、サテライト型健康調査を各地域で週2回程度行っています。完全予約制のため、調査への参加をご希望の方は、事前にご予約の上、お越しください。

●お問合せ先

0120-1100-867（フリーダイヤル）I-MMサテライト係

結果報告書、集団結果説明会

健康調査にご参加いただいた皆さまには、健康づくりに役立つ結果報告書を順次お送りしています。また、特定健診参加型健康調査に参加された方を対象に集団結果説明会を開催し結果報告書の見かたを説明、個別相談にも応じています。これまでに1400人を超える住民の皆さまにご参加いただき、参加された皆さま

からは、結果報告書の内容をさらに理解できた、健康管理にとってもプラスになる、と好評の声を多く寄せていただきました。各会場とも盛況で、参加された皆さまの健康への興味、関心の高さが感じられました。今後健康調査実施地域では引き続き実施していく予定です。また、この健康調査を通じてお住まいの地域の健康状態を明らかにし、参加された皆さまの健康づくりに役立つ健康情報を発信していく予定です。また、体質・生活習慣と病気との関係を明らかにし、個別化予防・個別化医療を開発提供していきたいと考えております。

集団結果説明会



▲H26.9 大槌町
（健康まつり）



H26.12 宮古市▶



▲H27.1 岩泉町



H27.2 田野畑村▶

追跡調査への協力依頼

I-MM地域住民健康調査は、一人ひとりの健康状態を数年間にわたり追跡し、未曾有の震災のストレスによる健康への影響などを調べます。そのため、健康調査後、数回にわたり皆さまの健康状態をアンケートでお伺いします。初回の調査票より質問量は少なく、記入時間は15分程度です。ご面倒かと思いますが、引き続き、皆さまのご協力をお願いいたします。

平成26年度 主な活動の報告

平成26年

5月	大槌町内で健康調査開始 矢巾センターで健康調査開始
6月	宮古市で健康講演会開催 宮古市内で健康調査開始 気仙サテライトで健康調査開始
7月	第2回東北メデイカル・メガバンク計画推進合同運営協議会開催 釜石市内で健康調査開始 久慈サテライトで健康調査開始 岩泉町内で健康調査開始
8月	次年度特定健診参加型健康調査実施対象地区との打合せ開始
9月	田野畑村内で健康調査開始 大槌町集団結果説明会開催（大槌町健康まつりに参加）
10月	宮古サテライトで健康調査開始 釜石サテライトで健康調査開始
11月	にのへ健康フェスティバルに参加し事業周知
12月	宮古市集団結果説明会開催
平成27年	
1月	G M R C 講習会実施 岩泉町集団結果説明会開催
2月	田野畑村集団結果説明会開催 釜石市集団結果説明会開催 宮古市集団結果説明会開催 （H27・2・27現在）

健康コラム

vol.4

「岩手県における東日本大震災後の脳卒中の発症状況について」

岩手県の脳卒中

脳卒中による死亡はかつて日本人の死因の第1位でしたが、昭和40年頃から死亡率は徐々に減少し、現在日本人の死亡原因の第4位です。しかし、65歳以上の要介護の原因となる病気のなかで脳卒中は一番多く、特に要介護度が高くなるほど脳卒中を原因とする割合は高くなり、患者本人のみならず、家庭や社会にとっても負担の大きい病気です。岩手県は脳卒中で死亡する方が多い県ですが、平成22年の脳卒中年齢調整死亡率は47都道府県のなかで、男女とも最も高くワーストワンとなっていました。

脳卒中の原因として最も関連が強いのが高血圧であり、高血圧は塩分摂取量と密接な関連があります。岩手県は塩分摂取量が47都道府県中一

番多く、このことが関係していると思われます。

東日本大震災と脳卒中

平成23年3月11日の東日本大震災は太平洋沿岸部に甚大な津波被害をもたらし、多くの人命や財産を奪っただけでなく、多くの住民に避難所での生活、そして現在まだ多くの方に仮設住宅での生活を強いられています。岩手

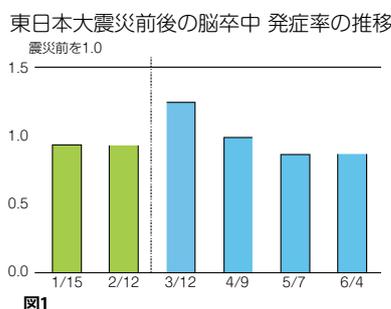


図1

データを解析したところ、震災後の1ヶ月間に脳卒中の発症が増加していたことが明らかとなりました。(図1)特に、浸水被害が大きかった地域、男性、そして高齢者でその増加が大きかったです。その後、脳卒中の発症は震災前並みに落ち着きました。しかし、最近の解析では、震災後2年が経過した時点で、内陸部では震災前と同様に脳卒中の発症が徐々に減少していましたが、沿岸部では脳卒中発症の減少が内陸と比べて遅れており、震災の影響を長期間にわたって受けていることが判明し

ました。(図2)このことは長引く仮設住宅での生活や、なかなか進まない住宅の再建や浸水域地の復興の遅れが影響している可能性が考えられます。

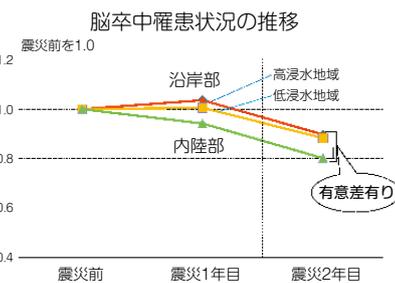


図2

被災地におけるコホート調査の意義

現在、被災地では災害復興住宅の建築や浸水域のかさ上げなど、地域の復興へ向かっており、それにより住民の生活環境も変化しています。また、減塩指導、健康教育など様々な保健活動が行なわれています。きめ細かい指導には、現在の健康状態や生活状況を詳細に調査して必要な健康指導や対策を行う事が大切です。また、健康状態の変化を長期間にわたり追跡することで、健康指導や対策の効果を評価し、脳卒中発症予防を含む有効な指導や対策につなげることが期待できます。岩手県の被災地におけるコホート調査では特に、脳卒中を発症する方や脳卒中で死亡する方を減らし、脳卒中死亡ワーストワンから脱却し住民の健康状態が改善することをめざしています。

(救急医学講座 特任講師 大間々真二)

メガバンク事業を支えるスタッフ

vol.8 専属運転手



健康調査会場への医師やスタッフの送迎、荷物搬送のため、乗用車からバス、トラックにいたる各種車両の運転を担当しています。冬期間は積雪の中、危険をともなう山道の運転となりますが、何よりも安全第一を心がけています。健康調査の影の立役者で、事業の実施に欠かせない存在です。

GMRC講習会を開催



平成27年1月19日(月)、28日(水)に、GMRCを対象に講習会を開催しました。GMRCは、遺伝子やゲノム解析研究の知識をもった健康調査を支援するスタッフです。講習会では、平成26年度の健康調査を振り返り、次年度に向け、改善点と計画の確認を行いました。今後も住民の皆さまにご理解とご協力をいただけるように努めてまいります。

IMMの解析研究が目指すもの

これまで本コラムでは、病気のかかりやすさなどの体質は遺伝と環境が合わさったものであること、そのため、DNAやゲノムなどの遺伝との関係を調べる「解析研究」と、生活習慣との関係を調べる「コホート研究」の両方が重要であることを紹介してきました。

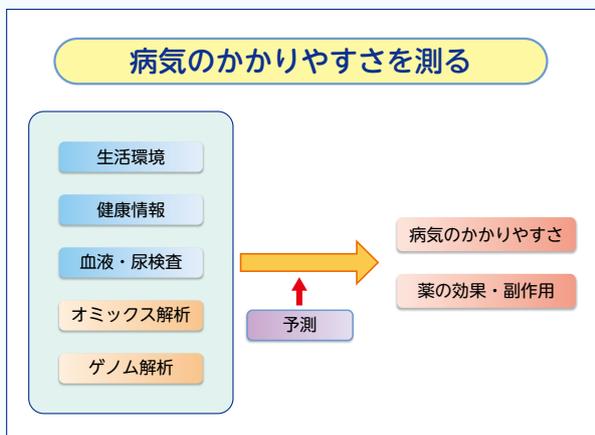
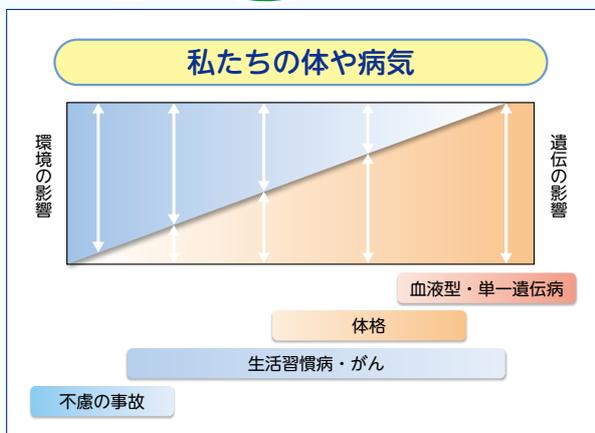
しかし、病気によって、遺伝で決まる部分と環境で決まる部分の割合が異なるため、実際に病気のかかりやすさを予測することは今でも大変むずかしい問題です。そこで、世界中で何万人、何十万人のヒトを調べて理解しようとする研究が進められています。

私たちIMMも、東北メディカル・メガバンク計画のパートナーである東北大学だけではなく、九州大学・国立がん研究センター・愛知がんセンターが行っているコホート研究と連携し、理学研究所にも協力を得ながら病気の「正しいすがた」を理解して、一人ひとりの病気のかかりやすさを測る方法を開発することを目指しています。

将来的に東北メディカル・メガバンクの参加者、岩手県・宮城県の住民の方々の健康を向上させ、日本における個別化予防・医療を発展させて、健康で長生きできる社会の実現を目指します。

(生体情報解析部門 特命教授 清水厚志)

遺伝と環境の両方を調べるのが大切なんだね



褐色の肌と金髪

肌の色と髪・目の色は決まった組み合わせがある。ヨーロッパ人は白い肌と金髪、アフリカ人なら黒い肌と縮れた黒髪、アジア人なら髪は黒いと思っている人が多いだろう。これは肌、目、髪の色を決める遺伝子が親から子へセットとして受け継がれているからである。南太平洋のソロモン諸島では肌の黒い金髪の人たちがいるが、つい最近まで16世紀以降に上陸したヨーロッパ人の子孫であると考えられていた。つまり、ヨーロッパ人の髪の色を決める遺伝子のセットが黒い肌の遺伝子セットに入り込んだため、黒い肌で金髪になったというのである。調べてみるとヨーロッパ人の遺伝子は見つからず、髪の毛を黒くする遺伝子に「突然変異」が見つかった。この突然変異は髪を黒くするという遺伝子機能を低下させ金髪にしてしまうらしい。遺伝子の突然変異は本来極めて珍しいものであるが、島という隔離された環境により珍しい遺伝子を持つ人々が増えていったようである。実際、この突然変異はソロモン諸島周辺以外では見られない。遺伝子解析により日本人の黒髪がどこから来たのかがわかる日も近い。(に)

